



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 イートアンド株式会社
 コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲田 浩康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 中島 靖雅
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5769-5050

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,594	9.5	173	75.2	163	80.8	55	98.6
29年3月期第1四半期	6,019		99		90		27	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 53百万円 (56.6%) 29年3月期第1四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.51	12.45
29年3月期第1四半期	6.30	6.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,017	4,691	36.0
29年3月期	13,348	4,671	34.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,681百万円 29年3月期 4,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.50		7.50	15.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		7.50		7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,040	4.2	270	0.8	255	2.9	88	48.0	19.98
通期	27,782	5.6	692	14.0	692	21.2	200	28.0	45.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	4,435,245 株	29年3月期	4,435,245 株
30年3月期1Q	358 株	29年3月期	358 株
30年3月期1Q	4,434,887 株	29年3月期1Q	4,432,987 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外で景気先行きに明るい材料が多く見られたことから、株式市場は好調に推移しましたが、円高進行の影響を受けて先行き不透明感が強まっているほか、各産業で人手不足が足かせとなっております。しかし、訪日客が再び増加に転じるなど好材料もあり、好調とは言えないまでも堅調に推移いたしました。

一般の消費生活におきましては、先行きへの警戒感から自動車などの製造業で夏季賞与が減少するなどしたために、人手不足ではありながら所得が伸び悩み、消費マインドの改善はごく小幅に留まりました。

食品業界におきましては、節約志向が依然として根強い中でも比較的好調に推移しておりますが、人手不足解消のために人的コストや設備投資の負担が増大し、各社苦慮する結果となっております。

このような状況下、当社グループにおきましては、「プロセスイノベーション」を掲げ、生産性向上や経営資源の配分・配置の適正化を企図した各種施策に着手いたしました。外食事業では、新業態の育成、新メニューの開発・投入に努めておりますほか、仕入・調理工程の見直しをはじめとする効率向上策により、各店の収益性や労働環境の改善を図っております。また食料品販売事業においては、工場稼働率、ひいては当社グループ全体の経営効率向上に貢献すべく、内製冷凍食品の主力商品拡販に加え、新製品開発のさらなる加速に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高が65億94百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益が1億73百万円（前年同四半期比75.2%増）、経常利益が1億63百万円（前年同四半期比80.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55百万円（前年同四半期比98.6%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 外食事業

外食事業におきましては、前連結会計年度に開発した新業態を次世代の主力に育て上げるべく、収益性・安定性の向上に注力する一方、既存業態では食材やボリュームなど質感を強化したメニューを発売するなど、新業態・新商品の開発に努めました。

なお、当第1四半期連結累計期間におきましては、加盟店6店舗（うち海外4店舗）、直営店4店舗の計10店舗を出店した一方、加盟店5店舗、直営店2店舗の計7店舗を閉店した結果、当第1四半期末店舗数は、加盟店403店舗（うち海外42店舗）、直営店73店舗の計476店舗（うち海外42店舗）となっております。

また、運営形態変更に伴い1店舗を直営店から加盟店へと変更しております。

以上の結果、外食事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は、33億81百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

なお、外食事業の店舗数の内訳は以下のとおりであります。

業態名	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)			当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)		
	直営店	加盟店	計	直営店	加盟店	計
大阪王将	31	326	357	30	325	355
ラーメン	20	28	48	19	27	46
よってこや	3	15	18	3	14	17
太陽のトマト麺	9	12	21	9	12	21
その他ラーメン	8	1	9	7	1	8
その他業態	21	9	30	24	9	33
カフェ	10	7	17	12	7	19
その他業態	11	2	13	12	2	14
海外	0	38	38	0	42	42
合計	72	401	473	73	403	476

② 食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、内製品の主力アイテムである「羽根つき餃子」および冷凍水餃子の販路拡大と既存得意先への出荷量増に注力しました。また、前連結会計年度に発売しました新たな内製アイテムである小籠包の拡販を図り、内製品比率向上、工場稼働率向上を通じて、当社戦略の主眼である食品メーカーとしてのスタンス強化に努めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は、32億15百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は、前連結会計年度末より3億30百万円減少し、130億17百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より2億62百万円減少し、62億50百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が増加した一方で、売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より67百万円減少し、67億67百万円となりました。主な要因は、差入保証金の減少によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は、前連結会計年度末より3億50百万円減少し、83億26百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より3億13百万円減少し、67億1百万円となりました。主な要因は、短期借入金が増加した一方で、未払金、未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より36百万円減少し、16億24百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末より19百万円増加し、46億91百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.0%（前連結会計年度末34.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月9日付け「平成29年3月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表しました業績予想に変更はございません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,271,179	1,270,271
売掛金	4,054,509	3,608,666
商品及び製品	576,011	717,699
原材料及び貯蔵品	240,795	242,382
繰延税金資産	103,276	103,276
その他	267,424	315,478
貸倒引当金	-	△7,189
流動資産合計	6,513,196	6,250,585
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,721,856	2,789,440
土地	1,089,772	1,089,772
その他（純額）	1,472,887	1,390,181
有形固定資産合計	5,284,516	5,269,394
無形固定資産		
のれん	63,570	60,030
その他	139,693	135,004
無形固定資産合計	203,264	195,035
投資その他の資産		
差入保証金	853,873	808,084
繰延税金資産	232,895	232,610
その他	296,443	310,389
貸倒引当金	△36,170	△48,218
投資その他の資産合計	1,347,042	1,302,866
固定資産合計	6,834,823	6,767,296
資産合計	13,348,019	13,017,881

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,244,919	2,127,351
短期借入金	1,170,000	1,540,000
1年内返済予定の長期借入金	135,000	135,000
未払金	1,846,777	1,519,428
未払法人税等	208,632	62,043
賞与引当金	153,968	96,205
役員賞与引当金	27,028	8,210
売上割戻引当金	721,560	621,125
その他	507,037	591,869
流動負債合計	7,014,924	6,701,233
固定負債		
長期借入金	416,250	382,500
退職給付に係る負債	100,829	103,428
役員退職慰労引当金	363,190	368,200
その他	781,068	770,847
固定負債合計	1,661,337	1,624,976
負債合計	8,676,262	8,326,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,074	960,074
資本剰余金	892,510	892,510
利益剰余金	2,785,183	2,807,414
自己株式	△442	△442
株主資本合計	4,637,326	4,659,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,888	3,535
為替換算調整勘定	22,540	18,055
その他の包括利益累計額合計	25,428	21,590
新株予約権	1,546	1,546
非支配株主持分	7,454	8,975
純資産合計	4,671,757	4,691,671
負債純資産合計	13,348,019	13,017,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,019,965	6,594,390
売上原価	3,645,364	3,916,705
売上総利益	2,374,601	2,677,684
販売費及び一般管理費	2,275,503	2,504,054
営業利益	99,097	173,630
営業外収益		
受取利息	130	174
受取配当金	44	43
受取手数料	1,024	424
その他	355	95
営業外収益合計	1,555	738
営業外費用		
支払利息	1,902	1,809
為替差損	1,118	26
持分法による投資損失	6,703	8,495
その他	339	213
営業外費用合計	10,063	10,545
経常利益	90,590	163,823
特別利益		
持分変動利益	-	5,708
特別利益合計	-	5,708
特別損失		
固定資産除売却損	17,613	2,143
店舗閉鎖損失	-	14,499
減損損失	-	50,530
特別損失合計	17,613	67,173
税金等調整前四半期純利益	72,976	102,358
法人税等	45,797	45,344
四半期純利益	27,178	57,014
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△770	1,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,949	55,493

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	27,178	57,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,729	646
持分法適用会社に対する持分相当額	2,046	△4,484
その他の包括利益合計	6,776	△3,838
四半期包括利益	33,955	53,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,725	51,654
非支配株主に係る四半期包括利益	△770	1,520

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	食料品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,127,614	2,892,351	6,019,965	-	6,019,965
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	3,202	3,202	△3,202	-
計	3,127,614	2,895,553	6,023,167	△3,202	6,019,965
セグメント利益	62,888	126,842	189,730	△90,632	99,097

(注) 1. セグメント利益の調整額△90,632千円は、セグメント利益の各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	食料品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,381,860	3,212,529	6,594,390	-	6,594,390
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	3,047	3,047	△3,047	-
計	3,381,860	3,215,576	6,597,437	△3,047	6,594,390
セグメント利益	95,676	144,938	240,615	△66,985	173,630

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,985千円は、セグメント利益の各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントの店舗設備について50,530千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。